

原材料、人件費等の高騰が収益を圧迫

米国関税の影響による納期遅れや輸入コスト増加で先行きは不透明

～景況DI値は、前年同月比13.2ポイント上昇のマイナス13.1～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 7月鳥取県内の中堅企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比36.8ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比同水準のマイナス21.0。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比42.2ポイント上昇のプラス36.9。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のプラス5.3、前年同月比同水準のプラス21.0。非製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のプラス10.6、前年同月比26.3ポイント低下のプラス31.6。

収益状況 製造業では、DI値前月比21.1ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス57.9。非製造業では、前月比31.6ポイント上昇のプラス21.0、前年同月比同水準のプラス15.8。

資金繰り 製造業では、DI値前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス21.0。非製造業では、前月比10.6ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス5.2。

雇用人員 製造業では、DI値前月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比0.1ポイント上昇のマイナス21.0。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比10.6ポイント上昇のプラス5.3。

景況 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比同水準のマイナス42.1。非製造業では、前月比21.1ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比26.4ポイント上昇のプラス15.8。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比13.1ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比13.2ポイント上昇のマイナス13.1となった。製造業では、引き続き光熱費をはじめ、原材料等の高騰が収益を圧迫しており厳しい状況が続いている。一部業種では米国関税の影響による材料の納期遅れや輸入コストの増加が見受けられ、先行き不透明な状況となっている。非製造業では、観光関連の一部で人流の回復の兆はあるものの、物価高騰により消費者の節約志向は強く、収益改善には至っていない。卸売や運輸、建設業では引き続き人手不足や労務費の増加への対応に苦慮している。県内景況は、猛暑による消費減退や諸経費コストの増加が共通の課題となっており、短期的な改善は難しい状況にある。多くの業種で人手不足や後継者問題が深刻化しているほか、燃料、原材料、人件費の高騰が収益を圧迫している。さらに米国関税や国際情勢による不透明感が加わり、先行きは厳しい。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

7月の全国倒産は、件数956件で、(前年同月920件、3.9%増)と2カ月連続で増加し、今年最多となった。2025年1～7月の累計は5959件で、前年同期(5807件)を152件、2.6%上回った。

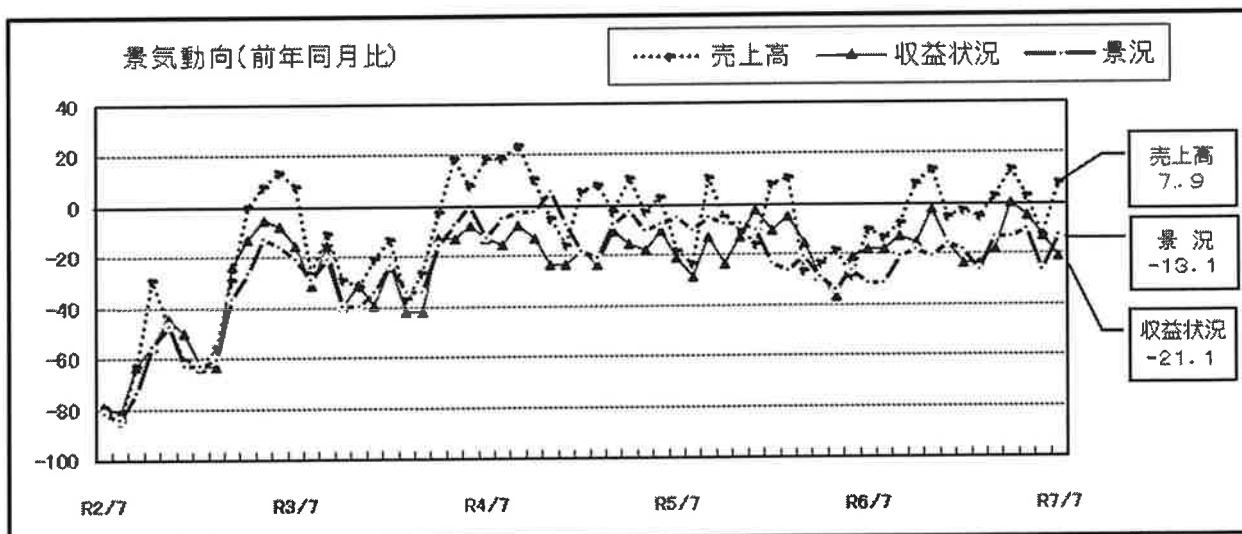
一方、7月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件(前月3件)、負債総額は7500万円(前月3億3900万円)となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報6月分」）

鳥取県の6月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.25倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.22倍)で、前月より0.03ポイント低下した。各所別有効求人倍率(原数值)では、鳥取所1.06倍、米子所1.25倍、倉吉所1.30倍。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.26倍(季節調整値)で、前月より0.13ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比6.8%減少し、有効求人数も3.4%減少した。産業別に前年同月で比較すると、公務・その他(35.3%)、製造業(19.2%)、運輸業・郵便業(8.4%)で増加した。

新規求職者数は、前年同月比3.0%減少、有効求職者数は前年同月比4.0%減少となった。パートタイムの有効求人倍率(原数值)は0.95倍で、前年同月に比べ0.03ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ17.5%減少した。



7月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	42.1%	15.8%	26.3 36.8	47.4%	21.1%	26.3 5.3	44.7%	18.4%	26.3 44.7
(2)在庫数量	0.0%	15.8%	-15.8 -5.3	33.3%	0.0%	33.3 16.6	12.9%	9.7%	3.2 3.2
(3)販売価格	5.3%	0.0%	5.3 -10.5	21.1%	10.5%	10.6 5.3	13.2%	5.3%	7.9 -2.6
(4)取引条件	0.0%	0.0%	0.0 5.3	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	0.0%	0.0 2.6
(5)収益状況	21.1%	15.8%	5.3 21.1	26.3%	5.3%	21.0 31.6	23.7%	10.5%	13.2 26.3
(6)資金繰り	5.3%	5.3%	0.0 0.0	5.3%	0.0%	5.3 10.6	5.3%	2.6%	2.7 5.3
(7)設備操業度	21.1%	5.3%	15.8 36.8						
(8)雇用人員	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	15.8%	0.0%	15.8 15.8	7.9%	2.6%	5.3 10.6
(9)景況	0.0%	15.8%	-15.8 5.3	21.1%	5.3%	15.8 21.1	10.5%	10.5%	0.0 13.1

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	21.1%	42.1%	-21.0 0.0	47.4%	10.5%	36.9 42.2	34.2%	26.3%	7.9 21.0
(2)在庫数量	10.5%	15.8%	-5.3 5.2	16.7%	0.0%	16.7 8.3	12.9%	9.7%	3.2 6.4
(3)販売価格	26.3%	5.3%	21.0 0.0	42.1%	10.5%	31.6 -26.3	34.2%	7.9%	26.3 -13.2
(4)取引条件	5.3%	26.3%	-21.0 0.1	5.3%	5.3%	0.0 10.5	5.3%	15.8%	-10.5 5.3
(5)収益状況	5.3%	63.2%	-57.9 -15.8	31.6%	15.8%	15.8 0.0	18.4%	39.5%	-21.1 -7.9
(6)資金繰り	5.3%	26.3%	-21.0 -10.5	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	5.3%	18.4%	-13.1 -7.8
(7)設備操業度	5.3%	21.1%	-15.8 0.0						
(8)雇用人員	5.3%	26.3%	-21.0 0.1	21.1%	15.8%	5.3 10.6	13.2%	21.1%	-7.9 5.2
(9)景況	5.3%	47.4%	-42.1 0.0	26.3%	10.5%	15.8 26.4	15.8%	28.9%	-13.1 13.2

* D I とは、ディファージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 前月に引き続き原材料、特に鶏卵、小豆、砂糖の高騰及び高止まりにより収益を圧迫している。

醤油⇒ 鳥取県産の味噌は米味噌100%であり地元産の米が望まれるため原材料の高騰が続いている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 円安の影響により海外への生産依頼が減少し、国内需要が高まりつつある。

ニット製品⇒ 秋冬物の受注商談は低調に推移している。衣料品小売は売上が低迷しており、今後もコストアップに対応する最終小売の値上げは困難で厳しい状況が続いている。人件費アップに対する価格転嫁が不十分な状態で、最低賃金の再引き上げはメーカーとしての負担が大きい。

【家具装備品】

⇒ 需要低迷のなか、物価高に伴う原材料や燃料費の上昇により収益性が低下、加えて建物等設備の老朽化や後継者不足もあり、地域の同業者に廃業の動きが散見される。売上高は前月比で同水準、前年同月比で減少、収益状況は前月比で同水準、前年同月比で減少した。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比、前年同月比で増加、製材品の生産量は横ばい、合板の生産量は前月比で微増となった。建築物件においては法改正の影響による建築確認申請の審査の遅れは徐々に解消しており、新築戸数も上昇傾向にあるが、平屋建てなど小規模物件が多く加工坪数が少ないため、製材品の需要が伸びていない。製材用素材の入荷量も増加しているが梅雨明けも影響し価格は上昇傾向にあり、製材品への価格転嫁が課題となっている。プレカット加工の稼働率は前月比170%、前年同月比は80%で推移した。

【紙・加工品】

和紙⇒ 円安の影響により原材料等諸経費の高止まりが続いている。

【印刷】

⇒ 選挙関係で売上が増加したものの、収益の増加には至っていない。大阪万博関連の仕事が多少見受けられる。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 東部地区の7月の出荷量は、前月比約113%、前年同月比約121%となり、いずれも大幅な増加となった。出荷量増加は一時的な変動による影響と考えられ、今後は再び減少傾向に転じることが予想される。中部地区では前月比約101%と横ばいで推移したものの、前年同月比は75%にとどまり大幅に減少した。4~7月の累計でも前年同月比は75%台にとどまり、極めて低調な水準となっており、今後も低調が続く見通し。西部地区では前月比約114%と堅調な伸びが見受けられ、前年同月比では約101%と前年並みの水準を維持した。今後も堅調な推移が続くと予想される。若手人材の確保に苦慮しており、今後の事業継続上の課題となっている。

【金属製品】

金属部品加工 ⇒ 原材料費の高止まりと円安による輸入コストの増加が収益を圧迫しているうえ、価格転嫁の遅れも利益率の低下を招いており、金属部品メーカーの業況は依然として厳しい環境が続いている。自動車や産業機械向けの受注は一部で回復の兆しが見られるものの、全体では需要の戻りは鈍く、生産量もコロナ前水準には届いていない。設備投資は先行き不透明感から慎重姿勢が強まり、新規案件は抑制傾向となっている。人手不足による生産計画の遅延や外注費の増加も重なり、コスト構造の悪化に拍車をかけている。海外市況も軟調で、輸出依存度の高い企業ほど受注環境は厳しくなっている。総じて底打ち感は乏しく、回復への道筋は見通せない状況ではあるが、各企業が打開策の模索を続けており、今後は自動車、PC、スマートフォンの次世代モデルの需要次第で業界全体の動向が左右される。

鉄骨加工 ⇒ 安価な物件が目立ち、受注採算割れ物件は各社とも受注しない慎重な姿勢を保つつつ、手持ち工事量、稼働率の維持に注力している状況が続いている。また秋口以降から県内中規模物件が2～4件程度受注される見込みで、年末にかけて物件数の増加に期待が持たれる。

金属熱処理 ⇒ 前年度から比較して受注量はわずかに改善傾向にあるが、不安定な要素が存在していることは否めない。顧客情報では必ずしも景気は良くないが、航空機や発電所のタービン等の高級素材の熱処理は受注が活発化している。ガス、電気のエネルギー費は政府の補助が終了し価格が高騰している。

【電気機械器具】

⇒ 米国関税の影響により材料の納期遅延が発生しているうえ、材料の不足や生産調整で計画変更が多発している。安定生産に支障をきたしており、収益確保が厳しい状況。設備投資や賃上げ等への対応に苦慮している。

非 製 造 業

【卸 売 業】

東部 地 区 ⇒ 青果関係では、前月比で取扱数量は横ばい、売上高は単価の低下により減少している。前年同月比では取扱数量、売上高とも減少している。6月下旬に梅雨が明け、7月の猛暑、少雨により、今後の青果・果樹の生育への影響が懸念される。鮮魚関係では、前月比、前年同月比とも取扱数量、売上高が減少した。例年この時期は取扱数量が少なくなるが、特に地場の魚が少なくなっている。賃上げ対応と給与原資の確保に苦慮している。また、酷暑となるなかで、義務化されている熱中症対策への取組みや倉庫内環境の改善など課題が山積している。

中 部 地 区 ⇒ 先月に引き続き PC 関連の需要が多く売上は増加した。10月の Windows 10 のサポート終了までは駆け込み需要が続くと思われる。2024年問題で先月より一部製品の共同配送が開始された。中部地区は週5回から週2回の配送に変更となるため、以前に比べ若干ではあるが、納期遅延が見込まれる。

西 部 地 区 ⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなってきているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げにより各金融機関の利上げ基調が強まっており、今後の影響が危惧される。米国関税の合意も、従来より関税上昇の影響が懸念され先行き不透明感は強まっている。

水 产 物 ⇒ 巻き網は小型のサバと小羽、小ウルメの混獲漁が続き昨年を大きく上回る

水揚げとなった。いずれも鮮魚対象になるサイズは乏しく輸出、飼料向けの凍結となった。順調な水揚げが続いたマグロ漁は例年より早く月の初めで漁獲枠を消化し終漁となった。今期も白いか、スルメイカは不漁が続き特に大型の物が少なく贈答用には苦戦している模様。総じて今期は天候に恵まれ時化は少ないものの、昨年以上の猛暑が続き生鮮の消費が落ち込み、水揚げ、荷動きともに夏枯れ状態になった。

リサイクル原料⇒ 取扱品物の発生数量は、若干の減少はあるものの大きな変動は見受けられない。価格も変動はないが、今後米国関税の影響で先行きは不透明な状況となっている。補助金の活用により設備等を購入し、作業の効率化及び収益確保を目指したい。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、7月は本通商店街土曜夜市も始まり、イベント時は大いに賑わっている。物価高騰による消費マインドの減退は変わらず、販売価格転嫁が進む一方で客数の減少により売上自体は昨年並みとなっている。7月はボーナス支給時期もあり、売上は若干の動きが出てきている。しかしながら、消費者の財布の紐は引き続き固く、生活防衛の色が濃く出ている。観光客等、人流は増加傾向である。インバウンドを含む旅行客などの増加はプラス要因であるが、物価上昇でコストの負担が大きくなってしまい、小売も飲食も価格転嫁により売上は増加していても、原価などコストの上昇の方が大きく、トータルでは厳しい状況に変わりはない。コメ価格が高騰して、飲食店は厳しい状況で、やむを得ず値上げをすれば、客離れを起こすという悪循環を引き起こしている。

鳥取市の水産物小売では、来場者は前月比では夏休みに入ったこともあり増加、前年同月比は横ばいで推移した。売上高は前月比、前年同月比で増加となった。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、雨の降らない酷暑の7月となったが、各種イベントの実施により街の活性化につなげられた。夏休みに入り、倉吉銀座商店街の夏の風物詩である「土曜夜市」を開催し、屋台をはじめ音楽を中心としたイベント、フラダンスショー、打吹回廊での舞台、倉吉信用金庫うつぶき支店前でのライブ、「銀座鉄道の夜」と銘打ったミニSL体験コーナーなど、2日間で延べ約7,000人の皆さんに楽しんでいただいた。また『アートスタンプラリー』や『ひなビタ♪スタンプラリー』も継続中でファンの来街に繋がっている。今後は『映画の街』として谷口ジローの『遙かな町』のクランクインに繋げていきたい。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、前月と比較し人の動きが活発となり、商店街への来街者も増加した。7月末には元町通り商店街で土曜夜市を開催し、約5,000人の集客となり、外部出店者だけでなく商店街の店舗への集客増にも繋がった。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、夏の観光シーズンであるが、猛暑の影響により砂丘に訪れる観光客が以前よりも減っている。団体バスについては、バスツアー等が万博に流れ、またその影響でバス不足もあり、例年以上に少ない。7月末頃からは、高校インターハイもあり参加する高校生を中心に鳥取砂丘へ観光に訪れるなどして、やや賑わいを戻している。

米子市のホテル・旅館では、夏休みに入り宿泊客が増加し、前年同月微増となつた。恒常的に人材不足が続いている。

三朝温泉では、前月に引き続き客足が遠のき状況は厳しい。連日猛暑が続き人通りは少なくなっている。夏休みに入ると徐々に人流は回復した。インバウ

ンドについては7月5日の「大災害予言」の影響により一時停滞したが、徐々に回復しつつある。

羽合温泉では、7月の宿泊は前月比約10%増加、前年同月比約20%増加となった。月の前半は大きな宿泊の動きは見受けられなかったが、後半にはファミリー層や高校インターハイの受入により宿泊者数が伸びた。

【自動車整備業】

⇒ 7月の新車は普通車・軽自動車を合わせて1,778台で前月比15.2%、前年同月比15.3%でともに増加となった。中古車は普通車・軽自動車を合わせて710台で前月比2.6%、前年同月比2.7%でともに増加となった。継続検査は普通車・軽自動車を合わせて16,523台で前月比2.0%、前年同月比1.7%でともに増加となった。

【建設業】

⇒ 6月の県内公共工事発注(西日本建設業保証㈱保証取扱)は、請負金額106億円(前年同月比14.9%増)、件数206件(前年同月比13.9%減)となつた。地区別では、前年同月比は中部、西部地区で増加、東部、八頭、日野地区で減少となつた。公共投資は単月、年度累計ともに前年同月比プラスとなるも、住宅投資、設備投資はマイナスが続き、全体としては弱めの動きとなつている。また、先行きも弱含む。資材価格や労務コストの高騰が続く中、価格転嫁出来ない赤字工事も発生し、売上、採算の悪化は継続している。また、猛暑にかかる生産性の低下も懸念されている。

6月の鳥取県新設住宅着工戸数は138戸(持家99戸、貸家39戸)で、前月比16.5%増加、前年同月比4.4%減少となつた。

【運輸業】

東部地区⇒ 7月の物流は、製造業関係や農産物の輸送が徐々に増えてきており、先月に比べて良好な動きとなつた。懸念されていた荷物の不足も解消されてきて、空いた車両も減少傾向になつてきているが、特にドライバー不足は深刻で時間外労働規制を背景に、スポット運賃は高止まりが続いている。売上は、前月比では維持、前年比では増加しており、改善の兆しが見えつつあるものの、燃料価格や人件費及び車両本体価格などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしており、今後も厳しい状況に変わりはない。

西部地区⇒ 補助金により軽油価格が落ち着きを取り戻した。また、荷物受注についても前月比、前年同月比ともに増加とした。ドライバー不足は引き続き深刻となつており、収益確保に大きな影響を与えている。今後、果実関連の収穫時期を迎えるが雨不足による不作も懸念される。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・電気料金、ガス料金の値下げを望む。米国関税に対するコストダウンを下請けに依頼しないよう対策を望む。【金属熱処理業】
- ・消費税廃止など大胆な経済政策を望む。【商店街】
- ・「ひなビタ♪」、「相撲の街」、「映画の街」を売りにしながら商店街の支援をお願いしたい。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2024年												2025年		前年との 増減幅
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
売上高	製造業	10.5	-36.9	42.0	26.3	-10.5	-5.2	-21.0	-5.3	5.2	21.0	-10.5	-10.5	26.3	15.8	
	非製造業	15.7	31.5	-47.3	21.0	15.7	-5.3	-36.8	15.8	68.4	-26.3	21.0	21.0	26.3	10.6	
	全業種	13.2	-2.6	-2.6	23.7	2.6	-5.2	-29.0	5.3	36.9	-2.7	5.3	-18.4	26.3	13.1	
在庫数量	製造業	21.1	-10.5	5.3	0.0	15.8	-15.8	-10.5	5.3	-21.1	-26.3	0.0	-10.5	-15.8	-36.9	
	非製造業	0.0	16.7	-25.0	0.0	8.4	16.7	-8.4	8.3	25.0	8.4	25.0	16.7	33.3	33.3	
	全業種	12.9	0.0	-6.4	0.0	12.9	-3.2	-9.6	6.4	-3.2	-12.9	9.6	0.0	3.2	-9.7	
販売価格	製造業	5.2	10.5	10.5	5.3	5.2	-5.2	5.3	10.5	10.5	-5.2	10.5	15.8	5.3	0.1	
	非製造業	0.0	26.3	5.3	21.0	42.1	36.8	5.3	5.3	10.5	10.5	15.8	5.3	10.6	10.6	
	全業種	2.6	18.5	7.9	13.2	23.6	15.8	5.2	7.9	10.5	2.6	13.1	10.5	7.9	5.3	
取引条件	製造業	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	-5.3	0.0	0.0	
	非製造業	0.0	-5.3	-5.3	0.0	5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	全業種	0.0	-2.6	-2.6	2.6	2.6	0.0	-2.7	-2.7	-5.3	0.0	-7.9	-2.6	0.0	0.0	
収益状況	製造業	-5.3	-36.8	-15.8	-26.3	-42.1	-21.1	-26.3	-10.6	-31.5	-5.3	-15.8	-15.8	5.3	10.6	
	非製造業	15.8	21.0	21.0	10.5	21.1	-5.3	-15.8	10.6	21.1	-26.3	5.3	-10.6	21.0	5.2	
	全業種	5.3	-7.9	-18.4	-7.9	-10.5	-13.2	-21.0	0.0	-5.3	-15.8	5.3	-13.1	13.2	7.9	
資金繰り	製造業	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-21.1	-21.1	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	0.0	0.0	10.5	
	非製造業	0.0	15.8	-10.5	15.8	15.8	0.0	-21.1	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.3	5.3	5.3	
	全業種	-5.2	5.3	-7.9	2.7	-2.6	-10.6	-13.1	-7.9	-2.6	-7.9	-2.6	-2.6	2.7	7.9	
設備稼働度	製造業	-5.3	-31.5	0.0	5.3	-5.2	10.6	-31.5	5.3	0.0	5.2	15.8	-21.0	15.8	21.1	
雇用人員	製造業	-5.2	-15.8	-10.5	-5.2	-5.2	-5.2	-21.0	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-0.1	
	非製造業	0.0	10.5	-10.5	0.0	5.3	10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.3	0.0	0.0	15.8	15.8	
	全業種	-2.6	-2.6	-10.6	-2.7	0.0	2.6	-13.2	-10.6	-2.7	-5.3	-5.2	-5.3	5.3	7.9	
景況	製造業	-31.6	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-31.5	-42.1	-31.5	-26.3	-31.5	-36.8	-21.1	-15.8	15.8	
	非製造業	0.0	0.0	-21.1	0.0	15.8	-5.3	-10.6	0.0	21.1	-26.3	0.0	-5.3	15.8	15.8	
	全業種	-15.0	-13.1	-23.7	-13.1	-10.5	-18.4	-26.3	-15.8	-2.6	-28.9	-18.4	-13.1	0.0	15.0	

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2024年												2025年		前年との 増減幅
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
売上高	製造業	-26.3	-47.4	-21.1	-10.5	5.2	-15.8	0.0	5.2	-5.3	10.5	0.0	-21.0	-21.0	5.3	
	非製造業	5.2	21.1	5.3	26.3	21.0	5.2	-5.2	-15.8	10.5	15.7	5.3	-5.3	36.9	31.7	
	全業種	-10.5	-13.2	-7.9	7.9	13.2	-5.3	-2.6	-5.3	2.6	13.2	2.7	-13.1	7.9	18.4	
在庫数量	製造業	5.2	-15.8	-21.0	-15.8	0.0	-10.6	-10.5	-10.5	-15.8	-21.0	5.2	-10.5	-5.3	-10.5	
	非製造業	-8.3	25.0	8.3	16.7	25.0	16.7	16.7	8.4	16.7	-16.7	16.7	8.4	16.7	25.0	
	全業種	0.0	0.0	-9.6	-3.2	9.7	0.0	0.0	-3.2	-3.2	-6.5	9.6	-3.2	3.2	3.2	
販売価格	製造業	0.0	0.0	26.3	15.8	0.0	-5.3	15.8	10.5	26.3	26.3	21.0	21.0	21.0	21.0	
	非製造業	26.3	42.1	36.8	42.1	57.9	57.9	63.2	52.6	57.9	52.6	42.1	57.9	31.6	5.3	
	全業種	13.1	21.1	31.6	28.9	28.9	26.3	39.5	31.6	42.1	39.4	31.6	39.5	26.3	13.2	
取引条件	製造業	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-5.3	-5.2	-5.2	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-21.0	-10.5	
	非製造業	-10.5	-5.2	0.0	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	0.0	10.5	
	全業種	-10.6	-7.9	-7.9	-10.6	-2.6	-7.9	-10.5	-10.6	-13.2	-13.2	-7.9	-15.8	-10.5	0.1	
収益状況	製造業	-26.3	-42.1	-26.3	-36.9	-26.3	-36.8	-36.8	-47.3	-42.1	-5.2	-15.8	-42.1	-57.9	-31.6	
	非製造業	-10.5	5.3	0.0	5.2	21.1	5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	5.2	15.8	15.8	26.3	
	全業種	-18.4	-18.4	-13.2	-15.8	-2.6	-15.8	-23.6	-23.7	-18.4	0.0	-5.2	-13.2	-21.1	-2.7	
資金繰り	製造業	-10.5	-26.3	-15.8	-10.9	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	5.2	-10.5	-21.0	-10.5	
	非製造業	-10.5	-10.5	5.3	5.3	10.5	5.3	-15.8	-5.3	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-5.2	5.3	
	全業種	-10.5	-18.4	-5.2	-2.6	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-2.6	-2.6	-5.3	-13.1	-2.6	
設備稼働度	製造業	-21.0	-31.6	0.0	-5.3	0.0	-15.8	-26.3	-26.3	-21.1	-10.6	5.3	-15.8	-15.8	5.2	
雇用人員	製造業	-10.6	-15.8	-31.5	-21.1	-21.0	-26.3	-36.8	-31.5	-10.6	-10.5	-15.8	-21.1	-21.0	-10.4	
	非製造業	5.2	5.2	5.2	5.3	0.0	5.2	5.2	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.3	0.1	
	全業種	-2.7	-5.3	-13.2	-7.9	-10.5	-10.5	-15.8	-13.2	-5.3	-5.3	-7.9	-13.1	-7.9	-5.2	
景況	製造業	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-26.3	-21.1	-42.1	-42.1	-5.3	
	非製造業	-26.3	-21.1	-10.5	0.0	-5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.3	0.0	0.0	-10.6	15.8	42.1	
	全業種	-31.5	-31.6	-21.0	-18.4	-21.1	-15.8	-18.4	-26.3	-13.2	-13.2	-10.5	-26.3	-13.1	18.4	

情報連絡員報告総括表(令和7年7月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

		売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
		増加	不変	減少	増加	不变	減少	上昇	不变	低下	好転	不变	悪化	好転	不变	悪化	好転	不变	悪化	上昇	不变	低下	好転	不变	減少	好転	不变	悪化	
製造業	食料品	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	2	1	
	木材・木製品	3	1	0	0	3	1	1	3	0	0	4	0	2	1	1	0	3	1	2	0	0	0	4	0	0	0	3	1
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	
	化学ゴム																												
非製造業	黒色・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	
	一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	輸送用機器																												
	その他	19	8	3	0	16	3	1	18	0	0	19	0	4	12	3	1	17	1	4	14	1	0	18	1	0	16	3	
100%		42.1%	42.1%	15.8%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	94.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	21.1%	63.2%	15.8%	5.3%	89.5%	5.3%	21.1%	73.7%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	84.2%	15.8%	
商業	卸売業	2	3	1	1	5	0	0	5	1	0	6	0	1	5	0	0	6	0	1	5	0	0	2	4	0	0	2	4
	小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	商店街	3	1	0	3	1	0	3	1	0	0	4	0	2	2	0	0	4	0	1	3	0	1	2	1	1	2	1	
	サービス業	2	1	2	0	0	5	0	0	5	0	1	3	1	4	0	0	5	0	1	4	0	0	3	0	1	4	0	
	建設業	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	運輸業	0	1	1	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0			
その他	その他	19	9	6	4	4	7	0	4	13	2	0	19	0	5	13	1	1	18	0	3	16	0	4	14	1	1	1	
		100%	47.4%	31.6%	21.1%	33.3%	58.3%	0.0%	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%	100.0%	0.0%	26.3%	68.4%	5.3%	94.7%	0.0%	15.8%	84.2%	0.0%	21.1%	73.7%	5.3%	0.0%	21.1%	73.7%	5.3%
		38	17	14	7	4	23	3	5	31	2	0	38	0	9	25	4	2	35	1	4	14	1	3	34	1	4	30	4
		100%	44.7%	36.8%	18.4%	12.9%	74.2%	9.7%	13.2%	81.6%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	23.7%	65.8%	10.5%	5.3%	92.1%	2.6%	21.1%	73.7%	5.3%	7.9%	89.5%	2.6%	10.5%	78.9%	10.5%

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

情報連絡員報告総括表(令和7年7月分)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

		売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
		増加	不変	減少	増加	不变	減少	上昇	不变	低下	好転	不变	悪化	好転	不变	悪化	好転	不变	悪化	上昇	不变	低下	好転	不变	減少	好転	不变	悪化	
製業	食料品	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	
	繊維工業	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0	1	1	1	1	
	木材・木製品	0	0	4	0	3	1	2	2	0	0	2	2	0	0	4	0	2	2	0	3	1	0	3	1	0	1	3	
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	出版・印刷	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	
	化学ゴム																												
	黒色・土石製品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0	2	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
	一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
非製造業	輸送用機器																												
	その他	19	4	7	8	2	14	3	5	13	1	1	13	5	1	6	12	1	13	5	1	14	4	1	13	5	1	9	9
		100%	21.1%	36.8%	42.1%	10.5%	73.7%	15.8%	26.3%	68.4%	5.3%	5.3%	68.4%	26.3%	5.3%	31.6%	63.2%	5.3%	68.4%	26.3%	5.3%	73.7%	21.1%	5.3%	68.4%	26.3%	5.3%	47.4%	47.4%
	卸売業	2	3	1	1	5	0	1	4	1	0	6	0	2	4	0	0	6	0	0	6	0	0	2	4	0	2	4	
	小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	
	商店街	0	3	1	1	3	0	3	1	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1	0	1	2	1	0	3	1	0	3	
	サービス業	3	2	0				3	2	0	0	4	1	3	2	0	1	4	0	1	4	0	2	3	0	2	3	0	
	建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	運輸業	2	0	0				0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	0	
	その他	19	9	8	2	9	0	8	9	2	1	17	1	6	10	3	1	16	2										
その他		100%	47.4%	42.1%	10.5%	16.7%	75.0%	0.0%	42.1%	47.4%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	31.6%	52.6%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%									
		38	13	15	10	4	23	3	13	22	3	2	30	6	7	16	15	2	29	7	1	14	4	5	25	8	6	21	11
		100%	34.2%	39.5%	26.3%	12.9%	74.2%	9.7%	34.2%	57.9%	7.9%	5.3%	78.9%	15.8%	18.4%	42.1%	39.5%	5.3%	76.3%	18.4%	5.3%	73.7%	21.1%	13.2%	65.8%	21.1%	15.8%	55.3%	28.9%